

# 人文研紀要

第22号～第24号(1995年)

---

◆第22号—1995年(1995年9月発行 A5版199頁)

ドイツにおける『ノラ』の受容	平山 令二
シラーの詩『ザイスのヴェールにおおわれた神像』について —そのユートピア論的解釈の試み—	稲垣 孝博
世紀末の女性像としてのルル —幻想の性と『地霊』のルル—	荒木 詳二
The Social Position of the Plebeians in Elizabethan England	Tetsuya Motohashi
萩原朔太郎 —『月に吠える』前派について—	中川 敏
日本軍毒ガス作戦日誌初稿補遺 三 —一九三八年六月～一〇月—	斎藤 道彦
《研究ノート》 リー・ハントの演劇批評	上坪 正徳

◆第23号—1995年(1995年9月発行 A5版199頁)

<p>80年代のソレルス(1) —「遊び人の肖像」の場合—</p>	<p>水野 明路</p>
<p>日本におけるヌーヴォー・ロマンの研究(4) —1980年代後半—</p>	<p>鈴木 重生</p>
<p>Imaginary Landscape, Imagined Language : Kazuo Ishiguro's <i>An Artist of the Floating World</i></p>	<p>Motoko Ono</p>
<p>ヘミングウェイの『われらの時代に』 —《同情とアイロニー》—</p>	<p>武藤 脩二</p>
<p>リルケの「運命」、あるいは「向かいあい」 —詩学と他者の関係性をめぐる試論—</p>	<p>戸口 日出夫</p>
<p>ヤーコブ・ベームにおける分開</p>	<p>富田 裕</p>
<p>「対外漢語教学」でよく見られるいくつかの問題点</p>	<p>羅 奇祥</p>
<p>スルターン・カーイト・バーイの布告とカサーマ</p>	<p>松田 俊道</p>

◆第24号—1995年(1995年9月発行 A5版282頁)

<p>〈特集 民衆文化の社会比較的研究〉 はじめに</p>	
<p>秩父まつりにみる民衆文化 秩父市と秩父まつり</p>	<p>田野崎 昭夫 村上 和賀子</p>
<p>秩父夜祭考</p>	<p>世良 正利</p>
<p>「地域文化のかたち」 —秩父夜祭</p>	<p>武山 智</p>
<p>津島まつりにみる民衆文化 津島市と尾張津島の天王まつりおよび秋まつり</p>	<p>田野崎 昭夫</p>
<p>民衆文化としての津島祭</p>	<p>渡辺 友左</p>
<p>「地域文化のかたち」—津島祭</p>	<p>武山 智</p>
<p>遠野まつりにみる民衆文化 遠野市と遠野まつり</p>	<p>田野崎 昭夫</p>
<p>イベントとしての「遠野まつり」の展開</p>	<p>竹村 祥子</p>
<p>宮崎地域の祭にみる民衆文化</p>	<p>時井 聡</p>
<p>日独文化交流史 —1899年～1903年を中心とする—</p>	<p>加藤 正泰</p>
<p>労働力構造の変動と社会意識変化の構図 —1970年代の激変期とその後の検証—</p>	<p>宮城 隆司</p>